

川崎市民のための
生涯学習情報誌

Stage Up

ステージ・アップ

通巻 No.184

2012年2月1日 発行

(隔月発行)

ホームページからも
ご覧いただけます!



もくじ

- 2 まち・ひと・多面体
- 3 シニアのパレット
- 4 特集 市内・近隣の大学
”市民向け生涯学習の取組-2”
- 6 施設めぐり
- 7 情報ポケット

「麻生不動だるま市」
とどろきフォトサークル
千坂隆男

誌上ギャラリー

麻生不動（別名：木賊（とくさ）不動）は応永年間（1394年～1427年）に堂舎が建てられ、その後願行上人によって作られた不動尊を安置して今日に至ったといわれる。現在の本堂は昭和43年に再建されたものである。

毎年1月28日は初不動の縁日。境内と周辺にだるま市が立ち、関東の納めのだるま市として賑わいをみせる。「ふるさと麻生八景」にも選ばれている。

所在地：麻生区下麻生1-21-10 小田急線柿生駅からバス「麻生不動入口」下車5分



発行・(財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1

TEL 044 (733) 5560(代)/FAX 044 (739) 0085

<http://www.kpal.or.jp/>

ステージ・アップ TEL 044 (733) 5811

E-メール: stage-up@kpal.or.jp

当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するため諸事業を推進しています。

まち・ひと・多面体

りぷりんと・かわさき ～心をつなぐ読み聞かせ～

『りぷりんと』ってどういう意味だろう？という素朴な疑問から気になったグループを取材していくうちに、シニア世代の皆さんのはつらつとした活動が見えてきました。

『りぷりんと』とは、Research of productivity by Intergenerational Sympathy（世代間交流による高齢者の社会貢献に関する研究）の頭文字を取ってReprints(リプリント)＝“人生の復刻”という意味をもっているグループ名で、全国に4つのグループがあります。

2004年多摩区保健福祉センターで行われた『シニアによる読み聞かせボランティアと健康法』という講座の受講生が中心となって、りぷりんと・かわさきは発足しました。60歳以上であることが条件で、現在のメンバーは86歳の方までの41人。今年度は多摩区内の教育施設、保育園から中学校までの16施設で定期的に読み聞かせをしています。

皆さんにお話をうかがうと「初めて読み聞かせをした時は、手や足がふるえましたよ。こんな緊張感は久しぶりです」「中学生に読み聞かせをする時には、聞いてもらえるか不安でいっぱいでした。でも、

後でもらった感想文を読んでこちらの思いが伝わっていたことが分かりとてもうれしかったです」とのこと、次から次へと話が出てきます。「いつもとはちがう心が動く」という表現をした方もいました。同年代と話すのとは違う新鮮な感覚で、子どもたちから学ぶことも多いそうです。

3月11日の震災後には命の尊さについて書かれた絵本の読み聞かせをしたそうです。伝えたいメッセージに合った絵本を選び、心をこめて読み聞かせをすることで心がつながることを願いながら…。普段から読み聞かせをしているからでしょうか、取材中、皆さんの表情が柔らかく話が聞きとり易いと感じました。

「子どもたちと接することでパワーをもらいますよ」という仲間の声に笑顔でうなずく皆さんの様子を見て、この活動は心をつなぎ笑顔を広める活動になるのではないかと感じました。

■問合せ りぷりんと・かわさき

代表 後藤尚男 ☎044-945-3622



二ヶ領用水・中原桃の会 ～桃の花に託した思い～

今から四半世紀前、昭和60年頃の二ヶ領用水は今の姿からは想像もつかない悪臭を放つドブ川でした。その川をきれいにしようと“二ヶ領用水の再生を考える市民の会”が結成され、各地域でその地域の特色を活かした活動が広がっていきました。

中原地区では「中原がむかし桃の里であったことを後世に伝え、桃並木を残したい」と、『二ヶ領用水・中原桃の会』が発足しました。発足当初は、今のように桃の花が咲く頃に散策の人々でいっぱいになることなど、想像もつきませんでした。

地域の人々などの長く地道な努力で、二ヶ領用水は鯉が泳ぎ、子どもたちがザリガニ釣りをするほどまでにきれいな川になりました。

26年間の活動で植樹は700本を超えました。桃並木の管理が重要な活動となった現在、残存する約300本の消



毒、剪定(せんてい)、下草刈りには二ヶ領用水・中原桃の会が、“プロジェクト21”という若手の会を立ち上げて取り組んでいます。植木の専門家もメンバーに加わって活動を支えます。

地域の方が桃まつりや七夕祭りを楽しみにし、二ヶ領用水沿いを多くの人が散策する姿に、この会の発起人のひとりである副会長の津脇梅子さんは「皆さんに理解していただくのに時間はかかりましたが、あの時活動を起こして良かった。環境用水として、また、歴史遺産としての二ヶ領用水と桃並木が、暮らしの中でホッとできる場所になっていることがうれしいです」と話してくれました。

桃の会の取材を通して、市民が行動し、情報を発信することで守られる歴史と環境があり、それが後世につながるのだということを実感しました。未来の人たちから「つないでくれてありがとう」という声が聞こえてくるように思いました。

※ 3月25日(日)『二ヶ領用水・中原桃まつり』

■問合せ 事務局(津脇) ☎044-722-8093



お散歩コンサート

～子どもたちのために、地域のために～

楽しい
歌のつどい

平成2年に各地で試行がスタートした学校週5日制。学校の土曜休みは、全国の公立学校で平成4年に月1回、平成7年に月2回と広がっていきました。そんな中、川崎区では区のPTA協議会が中心となって、子どもたちの土曜日の過ごし方の提案、文化活動に励む子どもたちの発表の場づくり、在日外国人を含む地域住民同士の交流などをテーマに“お散歩コンサート”実行委員会が立ち上がりました。以来、奇数月の第2土曜日にコンサートを開き続け、今年1月には開催回数が100回を数えるまでになりました。

シニア世代の方々を中心とした実行委員会の、息の長い熱心な活動を追いました。

立ち上げのころ

川崎区PTA協議会のOBや現職の人たちの思いは、地域で文化活動・音楽活動に取り組む人や、教育文化会館で働く人たちの共感を呼びました。立ち上げ当時の人たちが、今も裏方で活動しています。

共催団体には川崎区文化協会や教職員組合も名を連ねており、市教委や「音楽のまち・かわさき」推進協議会の後援も得ました。初期のころは教育文化会館だけでなく、地元小学校の体育館も会場になりました。プログラム編成や会場確保は大変でしたが活動は徐々に根付いていきました。毎回「特別出演」のコーナーがありますが、出演の申し出が途切れることはありません。

裏方のがんばり

ある夕刻、教育文化会館1階にある市民活動コーナーで第97回コンサートの準備をしている実行委員会を訪ねました。そこに集う人たちを見てビックリ。元教育文化会館館長など元市役所職員、川崎区内各校の元PTA役員・教職員など、川崎区の文化活動や教育活動を支えてきた人たちが、印刷機を回してチラシやプログラム作りに励んでいました。その姿には地域の子どもたちや住民の元気を支える活動に取り組む裏方としての自負があふれているように感じられました。



入場者を明るくお迎え

第1回の取組から参加している人、後から加わったものの、貴重な戦力として熱心に活動する人。そのボランティア精神、熱心な活動ぶりには頭が下がります。

実行委員は市内・市外の各地から集まります。それも1回や2回のことではありません。十数年間、100回を数えるほどにがんばり続けているのです。

第97回お散歩コンサート

7月9日(土)、この日の会場は教育文化会館6階の大会議室。開演は午後2時というのですが、会場入口前のエレベーターホールに置いてある長イスは12時半の時点ですでに“満席”。毎回この催しを心待ちに

ミリアの
パレット

している人がいかに多いことか。

会場では第1回からコンサートの中心になって歌唱指導などに取り組んでいる声楽家の古渡智江(こわたりともしえ)さんのリハーサル中。長く続くこの会でも気を緩めません。ピアノやフルートの奏者と入念に音合わせをしていました。



古渡さんとともに

開演時間前に会場はほぼ満席、300人に近い盛況ぶり。最初は古渡さんによる「一緒に歌いましょう」。元気いっぱい巧みなリードで会場は一気に最高潮。古渡さんの楽しいトークに笑い拍手が湧き上がります。この会が長く続くのは「参加する喜び」があるからかもしれません。

特別出演も大切な柱

特別出演の1番手は「川崎オカリナあゆみ会」、市内で幾つものオカリナの会を率いる水本一孝さんによって鍛えられた演奏は息もあって見事、子ども



が喜びそうな曲目も用意されていました。

特別出演の2番手はハーモニカの二重奏「デュオ・ハニー」。福島さんと大曾根さんは全日本コンクールで何度も入賞を果たした実力派。リズムカルな曲、叙情性豊かな曲を何本ものハーモニカを使い分けて演奏します。会場は心地よい静寂に包まれました。

来場者の声に「出演者と参加者が一体になり大変楽しく、あっという間に時間が過ぎた」とありました。

初回から活動している第2代会長吉浜富喜さんの「100回を一区切りと考えていましたが、これからも当分続けることになるでしょう」という言葉に、主催者の思いが込められているように感じました。

“100回超え”お散歩コンサート

- ◇ 3月10日(土曜日 13時開演予定)
- ◇ 教育文化会館大ホール

■問合せ：教育文化会館内事務局：☎044-233-6361

特集

市内・近隣大学の市民向け生涯学習の取組 -2-

慶應義塾大学 新川崎(K²)タウンキャンパス

川崎市幸区新川崎7-1
 ※K²(ケイスクエア)=慶應義塾(K)と川崎市(K)の協力による2乗の効果を生み出す広場。
 慶應義塾大学新川崎(K²)タウンキャンパスは川崎市との協定に基づき2000年4月に開設されました。産学官連携の研究拠点として「先端的研究の推進」、「新産業・新事業の創出」、「社会・地域への貢献」を目標に掲げており、現在、学部を超えて13の研究プロジェクトが推進されています。

当キャンパスでは、市民や学生、地元企業等の皆様を対象に、研究者が研究概要を分かりやすく解説するオープンセミナーを市と共催で開催しています。年2回開催し、うち1回は11月、各研究プロジェクトの研究活動を広くご紹介するオープンテクノキャンパスと同時開催しています。当日は、電気自動車の走行や研究室の公開など、研究成果を間近で見させていただく機会にもなっています。

市民団体等の見学も可能な限り受け入れており、近隣の小学校からは児童たちを様々な形で迎え入れています。未来を担う子どもたちに科学のおもしろさ、楽しさを体験してもらいたいとの思いで始めたイベント「科学とあそぶ幸せな一日」は、市・幸区、隣接するかわさき新産業創造センターと共催で9月に開催しています。3年目を迎えた今年度は1,000名を超える来場者があり、子どもたちの笑顔がキャンパスにあふれました。

本学と川崎市は2009年に基本協定を締結しました。新川崎以外のキャンパスでも、セミナーや公開講座、イベントなどを多数開講していますので、ぜひ一度ご参加ください。

【新川崎(K²)タウンキャンパス オープンセミナーのご案内】
 2012年3月1日(木)14:00~16:20 (事前申込制、参加費無料)
 「大学の知財活用による企業戦略」羽鳥賢一(研究連携推進本部副本部長、教授)
 「人に関わるMEMS:医療からICTまで」三木則尚(理工学部 准教授)
 【申込・問合せ】慶應義塾大学 新川崎(K²)タウンキャンパス事務局
 TEL 044-580-1580 URL www.k2.keio.ac.jp/

日本映画大学

新百合ヶ丘キャンパス：川崎市麻生区万福寺1-16-30
 白山キャンパス：川崎市麻生区白山2-1-1

1975年に創設された横浜放送映画専門学院が、1985年、新百合ヶ丘に移って3年制の日本映画専門学校になりました。これまでの36年間で映画製作・映像産業の世界などに5,000人以上の卒業生を送り出してきました。創設者である故今村昌平監督の「知は武器である」の理念のもと、2011年4月、わが国初の映画大学を開学しました。

本学には社会人を対象とした“社会人入学試験”制度があります。また、24年度からは市民向け公開講座なども開催したいと思っています。その際には改めてお知らせします。

【問合せ等】日本映画大学広報部 TEL 044-951-2511

日本医科大学(武蔵小杉病院)

川崎市中原区小杉町1-396
 日本医科大学は1904年、私立日本医学校として創立され、1926年の大学令によって旧制日本医科大学となりました。

武蔵小杉病院は1937年日本医科大学丸子病院として開院、1962年には総合病院としての承認を受けました。

当武蔵小杉病院では看護部を中心に、市民の皆様に様々な研修の機会を設けています。
 [平成23年度研修テーマから(一部)]
 ○インフルエンザ ○糖尿病の基礎知識
 ○皮膚・排泄ケア ○緩和ケア
 ○呼吸ケアの基礎知識 ○心電図の基礎
 ○子どもの虐待とは ○不妊症・不育症のケア 等々

※いずれも所定の申込書に記載しFAXでお申し込みいただけます。
 ※参加費無料。会場は武蔵小杉南館キャンパスです。
 ※24年度の詳細は今後決定されます。(問合せ等) TEL 044-733-5181



聖マリアンナ医科大学

川崎市宮前区菅生2-16-1
 TEL 044-977-8111(代)
 聖マリアンナ医科大学は(財)聖マリアンナ会東横病院を母体とし、1971年宮前区菅生に東洋医科大学の名で創立、1973年に現在の名称になりました。

本学では、川崎市との連携事業として例年9月、「家族の健康」をテーマに公開講座を実施しています。23年度は「震災の時にどうする? -その時あわてないために-」と題した3回の講座を開催しました。また、本学スポーツ医学講座の教員が中心になって60歳以上の方を対象に「筋力アップ教室」(春・秋の2回募集)も開催しています。

【問合せ等】聖マリアンナ医科大学医学情報センター 電話またはHP「聖マリアンナ医科大学公開講座」で検索してください。

聖マリアンナ医科大学 東横病院

川崎市中原区小杉町3-435
 TEL 044-722-2121(代)
 聖マリアンナ医科大学東横病院では東横病院公開講座・東横健康倶楽部を開催しています。公開講座は医師による講義形式、健康倶楽部は医師・看護師・技師等による参加型の講演になることもあり、少人数形式になります。どなたでも気軽にご参加ください。

【東横病院公開講座】参加無料、申込不要。先着80名。
 開催日時：1月・3月・5月・7月・11月の第4土曜日 14:00~15:30
 開催場所：東横病院管理棟5階会議室・カンファレンス室
 (5月のみ川崎市生涯学習プラザ401大会議室)

【東横健康倶楽部】参加無料、申込不要。先着60名。
 開催日時：2月・4月・6月・8月・10月の第4土曜日 14:00~15:30
 開催場所：東横病院管理棟5階会議室・カンファレンス室
 ※詳しくはホームページで。または、電話でお問合せください。



和光大学

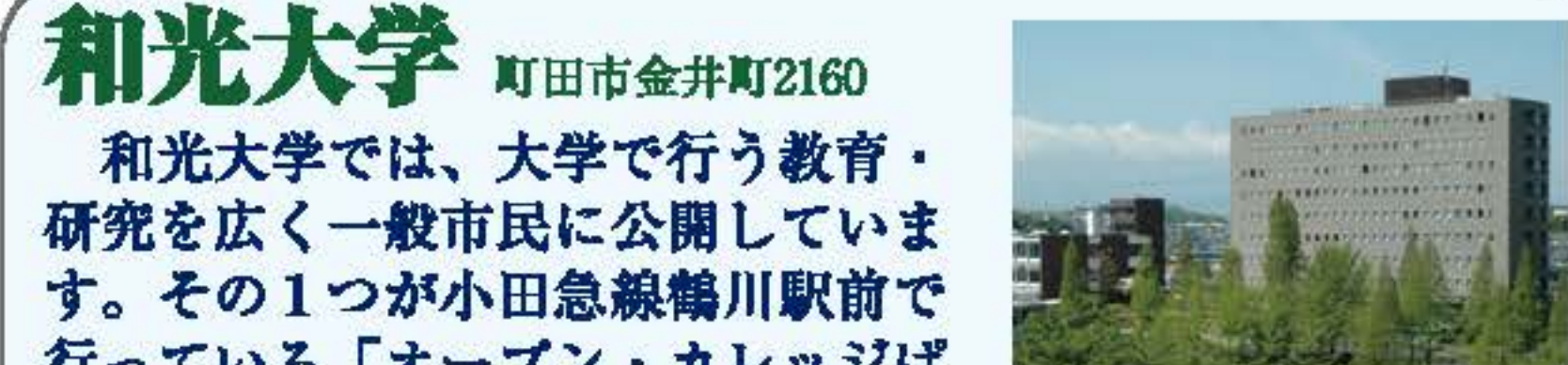
町田市金井町2160
 和光大学では、大学で行う教育・研究を広く一般市民に公開しています。その1つが小田急線鶴川駅前で行っている「オープン・カレッジばいであ」です。1つのテーマを5~20回にわたって学ぶ市民講座は、もっと学びたい!知りたいたい!と願う高校生からシルバーエイジの方まで、幅広い世代の方々が受講されています。どなたでもご参加いただけます。

■オープン・カレッジばいであ2012■
 2012年2月より、春期受講生を募集します。(講座は4月中旬より随時スタート)講座案内をご希望の方は下記までご連絡ください。(送料無料)

※「ばいであ」とはギリシャ語で、広くは教育・教養を表す言葉です。

■レクチャーコンサート2011■
 和光大学非常勤講師・荘魯迅先生がおくる中国音楽の世界をお楽しみください。チラシをご希望の方は下記まで。

◇日程：2012年2月25日(土)14時開演予定
 ◇場所：和光大学 E棟 101教室
 【資料請求・問合せ】TEL 044-988-1433 FAX 044-988-1594
 Eメール open@wako.ac.jp



川崎市内や町田市など近隣の町には、大学等の高等教育機関がいくつもあり、川崎市と様々な形で連携しています。今回、12月号と2月号で大学の生涯学習に関する取組をご紹介します。短大・専門学校などの教育機関についても、別の機会に紹介させていただきたいと考えています。

生涯学習の取組について川崎市との連携を進めている大学等高等教育機関 (順不同)

- 慶應義塾大学、昭和音楽大学、聖マリアンナ医科大学
- 専修大学、洗足学園音楽大学、田園調布学園大学
- 日本医科大学、日本映画大学
- 日本女子大学、明治大学、和光大学
- 川崎市立看護短期大学
- 日本溶接構造専門学校、日本映画学校
- 外語ビジネス専門学校、関東美容専門学校
- 登戸ドレスメーカー学院、YMCA福祉専門学校
- 米山ファッション・ビジネス専門学校*

*前183号で学校名を落としてしまいました。お詫びして追加いたします。



施設めぐり

市内公的施設および財団が管理運営する施設のご紹介

幸市民館

☎044-541-3910

JR南武線矢向駅下車徒歩15分

幸市民館は、幸図書館との複合施設（幸文化センター）として建設され、幸区における市民の学習・文化活動の拠点となる社会教育施設として、1980年にオープンしました。840名を収容できる大ホールや、会議室、音楽室、料理室などがあり、多くの市民の皆様にご利用いただいています。



幸市民館では、市民と協働で実施する市民自主学級・市民自主企画事業（24年度企画提案の申し込みは、2月7日まで）のほか、「サイエンスカフェ～災害から子どもたちを守ろう」「女性のワークライフバランスを考える」等の学級・講座など、様々な事業を実施しています。

〈幸文化センター祭〉

幸サークル連絡会が中心になって取り組みます。

□日時：3月10日（土）9:00～17:00 } 予定
3月11日（日）9:00～16:00 }



※10日午前には、奥平哲也マリンバコンサートが、午後には、生涯学習交流集会などのイベントも予定されています。

ぜひご来場ください！

青少年の家

☎044-888-3588

東急田園都市線宮崎台駅下車徒歩12分

宿泊&研修にぜひご利用ください！

青少年の家は、団体の宿泊研修を通じて健全な青少年の育成を図ることを目的とする社会教育施設です。学校関係・スポーツ団体等の交流会、音楽や演劇団体等の合宿練習、その他団体のご利用をお待ちしております。



プレイホール

(1) 申し込み受付期間

- 宿泊利用：利用日の属する月の6ヵ月前～20日前
- 日帰り利用：利用日の19日前～3日前

(2) 申し込み方法



音楽室

あらかじめ電話等で利用状況を確認し、お申し込みください。宿泊利用は利用日の1ヵ月前、日帰り利用は利用日の3日前までに必要書類をご提出いただきます。

※ご利用方法の詳細については電話でお問い合わせいただくか、HPをご覧ください。

宮前スポーツセンター

☎044-976-6350

東急田園都市線宮前平駅よりバス10分「犬蔵」下車徒歩5分

宮前スポーツセンターでは、お子様と一緒にできるものからご年配の方向けのものまで、多くの方にスポーツを楽しんでいただきたく、様々な教室・スポーツデーを用意しています。



- ① **スポーツ教室**→原則10回、事前申込制
- ② **個人利用**→登録・予約なし。大人200円・小人100円

※スポーツ教室・スポーツデーは種目によって対象年齢、利用時間が異なります。トレーニング室は中学生から利用可。（中学生は講習を受講した後の利用になります。）



ランニングコース（1周140m）も利用できます。※個人利用については、利用日当日券売機で当日券を購入すれば利用することができます。

- ③ **団体貸出**→大体育室・小体育室・研修室1・2



〈営業時間等〉

午前の部 9:00～12:00
午後の部 13:00～16:30
夜間の部 17:30～21:30
※21:30には完全退館。

◇毎月第4月曜、年末年始が休館日です。

◇詳しくはHP、または当館までお問合せください。

子ども夢パーク

☎044-811-2001

JR南武線津田山駅下車徒歩5分



“ふるさと”を歌おう!!

川崎市子ども夢パーク（以下「夢パ」）は「川崎市子どもの権利に関する条例」をもとに造られた施設です。夢パでは、毎月11日に東日本大震災復興の応援歌として、午後2時46分に黙とうをささげ、童謡“ふるさと”をピアノやギター、リコーダーなどの伴奏に合わせて歌っています。

この活動は、全国にある夢パのような遊び場の仲間たちと相談し、みんなで心をひとつにしたいという思いから始まりました。また、被災された方たちへのメッセージを黄色い布に書いて、毎月11日に夢パ内に掲げています。

昨年の夏には福島の子供もたちが夢パに遊びに来て、水遊びやどろんこ遊びなど、思う存分に外遊びを楽しみました。子どもたちの楽しそうな笑顔は希望を与えてくれます。みなさんも夢パと一緒に“ふるさと”を歌いませんか。



市内施設の各種取組と財団が主催する講座等のご案内

情報ポケット

てくのかわさき(川崎市生活文化会館)

溝口駅近くにある“てくのかわさき”は、技能職者が技を磨き、それを継承・振興する場として開設されました。各種サークルや団体・個人等、一般市民が多目的に利用できます。

てくのまつり 開催のお知らせ

日時：2月19日(日) 10:00~16:00
テーマ：「ものづくり」こそ未来の元気の素!!
 育もう、ものづくりの芽!



かわさき
 マイスター
 の実演・体験・即売コーナー、ものづくり体験、地元野菜の直販、食事の楽しめる屋台村、チャリティーバザー、親子でなかよしコンサート、フラダンス体験等々内容は盛り沢山。ペットボトルキャップを10個以上持参すれば素敵なプレゼントと交換できます。

ご来場をお待ちしています!

〈2月以降の催しから〉

◇お肉屋さんが教える料理教室 2/16(木) ◇ホームページ作成講座 3/3(土)・4(日) ◇ゲルマニウムラジオ制作教室 3/17(土)など ← 詳細はお電話で!
■開館：9:00~22:00 ■問合せ：044-812-1090

ふれあい館

ふれあい館は川崎区の桜本地区にあります。

乳幼児から、高齢者まで、幅広い事業を貫くキャッチフレーズは「誰もが力いっぱい生きるために」、こども文化センター、生涯学習事業の位置づけがあり、日本人と在日コリアン、外国につながる市民との共生をテーマにして、市民参加型の施設運営を行っています。

<2月以降のイベント情報>

この時期は、1年間のまとめとして、こどもから大人まで継続して文化学習する人たちの発表会形式の「ふれあいフェスタ」が開かれます。



コリアン民族舞踊
 「コクチュム」

- 日時：3月11日(日) 2時~4時
- 会場：さくら小学校体育館
- 内容：コリアン文化や、フィリピンにつながるこどもたちのヒップホップなどが演じられます。(入場無料)
- 問合せ：川崎市ふれあい館 川崎区桜本1-5-6 ☎044-276-4800

川崎市生涯学習財団主催 パソコンセミナー受講生募集

講座名	開催日	申込み締切	受講料
Word 初級	3月1日(木)・2日(金)	2月16日	13,000円
Excel 初級	3月8日(木)・9日(金)	2月23日	13,000円
デジタル画像編集	3月13日(火)	2月28日	5,000円
Word 活用	3月15日(木)	3月 1日	5,000円
Excel 活用	3月16日(金)	3月 2日	5,000円
Word・Excel 復習(演習)	3月21日(水)	3月 7日	5,000円
Power Point	3月22日(木)・23日(金)	3月 8日	13,000円

開催時間：10時~16時(1日5時間、昼休憩1時間あり)
定員：各15名(定員を超えて申込みがあった場合は申込み締切後に抽選)
対象：年齢18歳以上の方
講座会場：川崎市生涯学習プラザ3階研修室
申込方法：電話・Fax・ハガキで。

※ Fax・ハガキの場合は ①受講希望講座名 ②住所 ③氏名(ふりがな)
 ④電話番号・Fax番号 ⑤年齢 をご記入ください。

申込み・問合せ先：〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
 (財)川崎市生涯学習財団事業推進室 パソコンセミナー係
 ☎044-733-5894 Fax: 044-733-6697



あ と が き ◆新しい年が明けてひと月、皆さんはどのような言葉を交わしながら新年を迎えられただろうか◆年末12月22日付の朝日新聞「天声人語」に「災いを恨んだ年の暮れ、賀状のあいさつ言葉に迷う人が多い」とあった◆手放して「やあ、おめでとう!今年もよろしく」と言い放つ心境ではない。かといって暗く神妙な顔で黙礼することがよいとも思わない。人の痛みを我が痛みとするとともに、痛みを乗り越える明るさと元氣も捨てたくはない◆「謹賀新年」をやめて年始の挨拶状に「一陽来復」の四文字を選んだ人もいたようだ◆そのような語彙(ごい)表現は思い浮かばなかったが、同じ心だけは持ち続けたい。被災地に一日も早い平安が訪れることを祈りたい。

～放送大学はあなたの生涯学習を応援します！～

放送大学平成24年度4月入学生募集

(教養学部・大学院文化科学研究科)

応募期間 平成23年11月15日(火)～平成24年2月29日(水)

いまさら
入学試験なんて？

入学試験はありません。学ぶ意欲が入学資格。満15歳以上であれば1科目から学ぶ選科・科目履修生に、満18歳以上なら卒業を目指す全科履修生としても、入学できます。

どうやって
学習するの？

テレビとラジオによる放送授業(週1回×15週)とテキストで学習を行います。学期途中の通信指導、学期末の単位認定試験に合格することで単位修得となります。

費用は
どのくらい？

必要な費用は入学科6,000円～22,000円(在籍期間により異なります)と授業料1科目につき11,000円です。授業料は学期ごとに履修する科目の分を支払うので、無理なく続けられます。 ※放送授業の場合

興味ある講座は
あるかしら？

「心理学入門」「身近な統計」など、ビジネスに役立つ科目から、「文学」「歴史」「外国語」など教養を高める科目まで、経験豊かな教授陣による多彩な科目を開講しています。

忙しくて
時間が取れない？

テレビとラジオで授業を行うので、自宅で学習できます。また、学習センターの視聴覚室でまとめて視聴することもできます。一部科目はインターネット配信も…。

大学卒業
資格は
取れるの？

全科履修生として入学し、4年以上在学して所定の124単位以上を修得すると「学士(教養)」の学位を取得できます。2・3年次への編入学制度もあります。

詳しくは、電話・FAX・HPで募集要項(無料)をご請求ください。



0120-864-600
www.ouj.ac.jp

検索エンジン(yahoo! JAPAN・Google 等)で、「放送大学」とご入力の上、ご覧ください。

随時
見学可能



放送大学

オープンキャンパス・神奈川学習センター(横浜市南区大岡2-31-1)

TEL 045-710-1910

個別相談会(※)を
行います!
(予約制です)

東京世田谷学習センター(世田谷区下馬4-1-1)

TEL 03-5486-7701

2月4日(土)、12日(日)、18日(土)

※2月21日(火)～26日(日)、28日(火)、29日(水)(個別相談会のみ)

2月4日(土) ※2月12日(日)、18日(土)、21日(火)～26日(日)、

28日(火)、29日(水)(個別相談会のみ)

※2月12日(日)以降の相談会場はA P渋谷(渋谷東急プラザ8階)となります。

※東京世田谷学習センターは3月31日で閉所し、4月1日より渋谷駅近くに東京渋谷キャンパス(仮称)が開設される予定です。

かわさき市民アカデミー

2012年度前期 受講生募集のご案内

かわさき市民アカデミーは、1993年の創設以来、市民が生涯にわたる学習と社会参加を通じて積極的に生きることを支援し、活力ある地域社会づくりをめざす市民のために、学習機会を提供してきました。20年目となる2012年度も26の講座、13のワークショップ、2つの短期集中講座、5つの地域協働講座を開設します。この春、新しい学びに挑戦してみませんか。



- ◆ 受講対象：18歳以上の方(市外の方も受講できます。)
- ◆ 受講料：2,000円～17,000円 ※講座・ワークショップによって異なります。
- ◆ 申込方法：FAX・郵送、またはホームページから。

(1) 受講したい講座・ワークショップ名(複数受講可)

(2) 名前(ふりがな)、生まれ年、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号

※今年度の募集は「1年会員」「聴講生」の2種類での申込みになります。

◆ 申込締切：会員・聴講生とも 2月18日(土) 必着

◆ 申込・問合せ：〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1

生涯学習プラザ3階 NPO法人かわさき市民アカデミー

FAX 044-722-5761 TEL 044-733-5590

※ 電話は問合せのみ可能です。(平日9:00～16:00)

ホームページ <http://npoacademy.jp/>



〈受講の可否、受講手続き、費用の払込等については3月6日(火)ごろまでに文書でお知らせします。〉